点訳フォーラムＱ＆Ａ

2021年４月～2022年３月版

第４章　記号類の使い方

その１　句読符

１．p98　１．句点

本のタイトルに句点がついています。

『ケータイ小説。』

このような場合、「モーニング娘。」と同じように省略してよいのか、タイトルの場合は句点は省略しないのかどちらでしょうか。

【Ａ】

「モーニング娘。」は人名に分類される固有名詞ですが、本のタイトルには、語句もありますが、文の場合もあります。

また、句点は、疑問符や感嘆符とは異なり、必ず文末に付き、後ろは必ず二マスあけになります。

このようなことから、本のタイトルの場合は、句点を用いる場合も、省略する場合もありますし、本のタイトルが文中に用いられている場合は、カギで囲むなど工夫が必要な場合もあります。

『ケータイ小説。』は、文ではありませんので、省略してよいと思います。

２．p98　１．句点

Jr.。

英単語の省略記号（ピリオド？）と句点が続きます。

どのように点訳すればよいですか？

【Ａ】

このピリオドと句点は、機能が異なりますが、点字では慣習上、このような場合は、②⑤⑥の点を一つだけ書くことにしています。二つの働きを兼ねさせます。

３．p99　２．疑問符・感嘆符

この文の疑問符の後ろは文中と考えて一マスあけでしょうか。点線のあとに疑問符なので、次は新しい文と考えて二マスあけでしょうか。

懐中電灯をつかって本を読んでいる人がいる･･･？　と思ったらあなただったの。

【Ａ】

ご質問の文は「と」に続いていますが、前が、点線があって疑問符ですので、この疑問符は文末と考えた方がよいと思います。ですから

イル■・・・？■■ト■オモッタラ

迷うところですが、疑問符は本来文末に付く記号ですので、後ろ二マスあける方を優先して考えた方がよいと思います。

４．p101　３．読点　【処理２】

その１。・・・・・・。　（・・・・・・　は文章）

その２。・・・・・・。

その３。・・・・・・。

第一。・・・・・・。

第二。・・・・・・。

第三。・・・・・・。

第一、・・・・・・。

第二、・・・・・・。

第三、・・・・・・。

などが、文頭にある場合に、【処理２】は適用できるものなのでしょうか。【処理３】では、数字で表した場合に「②⑤⑥の点　一マスあけ」になり、ヒトツと仮名で書いた場合は読点を用いますので、上記のような場合は原本通り、「句点　二マスあけ」「読点　一マスあけ」だと思っており、【処理２】でいう「仮名」は、ア．　イ．　ウ．・・・　イ．　ロ．　ハ.・・・のような場合についてだけと思っていたのですが、「②⑤⑥の点　一マスあけ」で点訳されているのを見て自信がなくなってきました。

【A】

【処理２】は、見出しや箇条書きの場面について述べられています。

見出しや、箇条書きの順序を表し、数字だけの場合と同じ働きをしている場合は、②⑤⑥は、ピリオドと考えて一マスあけにします。

■■ソノ■数１．■

■■ソノ■数２．■

■■ソノ■数３．■

■■ダイ数１．■

■■ダイ数２．■

■■ダイ数３．■

となります。

問い１．問い２．問題１、問題２などの場合も、

■■トイ■数１．■

■■トイ■数２．■
モンダイ■数１．■
モンダイ■数２．■
となります。

一、二、その１、などと読点で書いてある場合も順序を示す見出しであれば、ピリオドに置き換えることを基本としますが、第一、第二、の場合、見出しであっても、読点の働きととらえられる場合は、読点をそのまま用いるのが自然な場合も多いと思います。

５．ｐ103　４．中点　(2)　④

以下のような見出しにある中点は、どのように考えたらよいでしょうか。
お豆の船　小さい神さまのお話・その1
駆け比べ　小さい神さまのお話・その2
お別れの時　小さい神さまのお話・その3
見出しの後ろに序列があるように思うのですが、てびきｐ152　二マスあけ（1）⑤「見出しに含まれる段階・序列を含む言葉や文字と見出しの間」を用いることができるのでしょうか。

【A】

中点の部分は、二マスあけになります。
この中点は、p103　(2)　④　の「次のような場合は、中点を適切な記号やマスあけに代える」に当てはまります。ここの用例には全く同じ用法はでていませんが、中点はあらゆる場面に便利に用いられますので、適切な記号やマスあけに代えることが必要になります。そしてｐ152「二マスあけ」の項目では、(2)の⑤に当てはまります。
ご質問の中にある、ｐ152　(1)　⑤は「第１章　○○」「第２節　○○」の、第１章、第２節の後ろを二マスあけることを指していますので、この場合には当てはまりません。

その２　囲みの記号

１．p104　１．カギ類

同じ人が続けて話している場面で段落が変わると開きカギがあるのですが、それに対する閉じカギがないのです。
上下巻の翻訳もので上巻に６ヵ所あります。

点訳担当者は前にも同じような経験があり、その当時、調べてみたところでは原書にも閉じカギがなかったそうです。翻訳小説にはありがちなのでしょうか。

閉じカギがないのは触読される方には混乱のもとなのでしょうか。原本にはなくても閉じカギを追加したり、不要と思われる開きカギを削除したりして良いのでしょうか

【A】

英語では、複数の段落にわたる一人のセリフ、あるいはひとまとまりの引用文をコーテーションで囲む場合、各段落の始まりに開き記号を書き、最後の段落の終わりにだけ閉じ記号を書くことが多くあります。

翻訳物で、これをそのまま日本文にあてはめて、カギを用いている場合がありますが、日本文ではこのようなカギの用い方はしませんので、点訳では、始めと終わりのカギだけを書きます。

なお、補足ですが、英語点訳では、原文の通りに点訳しますが、日本語では、カギの開き記号だけがあって閉じ記号がないのは、日本語の文としてはあり得ないので非常に気になると思います。

２．p104　１．カギ類

「てびき」では、「基本的には第１カギを用いる」、「第１カギ、二重カギと区別して他のカギが必要なときは、第２カギを用いる」となっています。

この「区別して他のカギが必要なとき」とは、どのようなときなのでしょうか。

「てびき」p105　５番目の例《将来の“夢”を～》では、第２カギが使われていますが、「～」以外のカギ“～”〈～〉などが使われている箇所は、全て「区別して他のカギが必要なとき」になるのでしょうか。

原文で、特に区別が必要と思われる箇所ではなく「～」“～”〈～〉が取り混ぜて書かれているような場合も、第１カギと第２カギを使うべきでしょうか。

例　電話口の会話で、こちらは「～」、相手は〈～〉

会話は「～」、メールの文面は《～》

現在の会話は「～」、回想シーンでのセリフは“～”

会話は「～」を使った上で、地の文で商品名に〈～〉

言葉を強調する際の“～”は、上記てびきの“夢”と同じ用法かもしれませんが、今ひとつわかりません

【A】

第１カギは会話に使われることが多いので、会話文と区別して語句の強調などには第２カギが用いられることが多いと思いますが、原文によっても異なりますし、会話以外にも第１カギを用いることがありますので、それぞれの原文に応じて使い分けることになります。

厳密な使い分けのルールは決まっていませんので、第１カギでは足りないときに第２カギを用いるという基本的な考え方で判断してください。

挙げられた例で考えてみますと

電話口の会話で、こちらは「～」、相手は〈～〉　⇒　文脈で分かりますし、特に区別する必要が無ければ、ともに第１カギでいいと思います。

会話は「～」、メールの文面は《～》　⇒　これも文脈で分かれば、ともに第１カギでいいと思います。もし、メールの文面が長く、行頭を下げて書いてあれば、引用文の書き方で、インデントを用い、カギを省略する方法もあると思います。

現在の会話は「～」、回想シーンでのセリフは“～”⇒　これも、文脈で分かれば第１カギでいいと思います。

会話は「～」を使った上で、地の文で商品名に〈～〉⇒　商品名などを強調する場合は会話文とは異なりますので、一般的に第２カギを用います。

言葉を強調する際の“～”⇒　これも会話などに第１カギを使用していれば、第２カギを用いることが多いと思います。会話文が無い場合など、第１カギを用いる場合もあります。

３．p106　１．カギ類　【備考】

次のような語句が原文で『～』で囲まれていた場合、ふたえカギを用いてもよいでしょうか。

『Ｘ　ＪＡＰＡＮ』『氣志團』などのグループ名

『木乃婦』（京料理の店）

『GYOZA OHSHO』（餃子の王将）

『岩戸山』（町名）

『鳳条』（表札に書かれている姓）

【Ａ】

グループ名、店名、町名、名字などは、タイトルとはいえませんので、地の文に書かれているときには、第１カギ、または第２カギを用いるのがよいと思います。

４．p106　1．カギ類【備考】

『幕末―その常識のうそ』の中で『日記』は『薩州御用録　巻の一』、『遠征記』は『ペリー提督日本遠征記』を指しています。

『日記』と『遠征記』はタイトルとは言えず他のカギに変えた方がいいのでしょうか。

【Ａ】

この本の中で、『薩州御用録　巻の一』『ペリー提督日本遠征記』という正式なタイトルが一度書かれていて、その後に『日記』や『遠征記』が、『～』で囲まれてい

るのであれば、書名を限定できるので、ふたえカギを用いて良いと思います。

ただ、一般には、『日記』や『遠征記』だけでは、元のタイトルを想起させるような略称からは離れていますので、正式なタイトル名が提示されていない場合は、第２カギまたは第１カギで囲むのがよいと思います。

５．p106　１．カギ類　【備考】

《愛の妙薬》《人しれぬ涙》《春の夢》《冬の旅》など、原本で、曲名が《～》で囲まれています。点訳者は第２カッコで点訳しています。これをカギを使用するように校正したいと思いますが、第２カギ、ふたえカギ、第１カギのどれがよいでしょうか。

また、地の文で原本の『～』と対応してふたえカギを用いることができる例を具体的に教えてください。「てびき」では「書名など～」、点訳フォーラムでは「タイトル」と書かれていると思います。

【Ａ】

ご質問の場合の《～》は、第２カギが一般的な書き方になると思います。他のカギとの関係で差し支えなければ第１カギを使用してもよいと思います。

ふたえカギを地の文で用いることができるのは、「てびき」の規則には「書名など」と書かれていますが、「など」の範囲について、点訳フォーラムでは、「書名に限定せず、作品名すなわち音楽や映画のタイトルなどまで」と考えています。これは、あくまでも原文で『～』が用いられているときになります。

６．p106　１．カギ類　【処理１】

「カギ類の内側に同じカギ類を用いてあって、誤読の恐れがある場合には、他のカギ類におきかえる」とあります。誤読の恐れがある場合とは、例えば、どのような場合でしょうか。原本の以下の文の場合は、いかがでしょうか。

「依存症をその人個人の病気の問題と捉えたら、ペナルティは意味を持ちません。ペナルティによる「孤立」は孤独感を生みます。孤独感を持ったまま、人は生きていけないんです。･･･」と、施設長の高田さんは話します。

【Ａ】

ご質問の文の場合は、「孤立」をふたえカギ、または第２カギにします。

カギ類の規則では、最初に、ｐ104（1)で、「～、その中にさらにカギ類が必要であれば、ふたえカギを用いる。～　第２カギを用いる。」とあり、これが大原則となります。ですから、【処理１】では、ほとんどの場合が誤読のおそれがあると解釈してください。誤読のおそれがない場合として、【処理２】を掲げています。

７．p106　２．カッコ類

第１カッコ中の説明のカッコを、二重カッコにした場合、二重カッコが二つ続いてもよいのでしょうか。

（原文）

運用基準案（特定秘密の指定及びその解除並びに適正評価の実施に関し統一的な運用を図るための基準（仮称)(案)）を見ていても、・・・

【A】

二重カッコを続けて書いても誤読の恐れはありませんので、原文の通りに、(仮称）と（案）を二重カッコで続けて書くことができます。

キジュン　に続けて、キジュン((カショー))((アン))と書き、続けて第１カッコの閉じ記号を書きます。

文脈によっては、「てびき」p135やp192のように、カッコの使用の仕方を工夫することができますが、この場合は、原文通りに点訳するのがよいと思います。

８．p106　２．カッコ類

（前略）（中略）（後略）について、「てびき」には、（中略）の例が一つだけ載っています。それだけでは、判断しにくいので、確認させてください。

１．■■－－■（前略）もとより竜馬はひとかどの一人物なれども、・・・

２．兄弟の結びをなし（中略)、錦旗一たび揚らば・・・

３．■■（前略）草莽の志士・・・とても策無之事（中略）乍失敬、・・・これなきか。(後略)

４．賛成せり。(中略）老坂に至る

５．■■「(前略）大平通り御嶽・・・

以上のマスあけはどうなりますか。

【A】

（前略）（中略）（後略）の前後のマスあけについては、文脈の中で判断するしかなく、機械的なルールはありません。判断の目安としては、

１．（前略）（中略）（後略）が記号類と隣接している場合は、記号間の優先順位に従う。

２．（前略）（中略）（後略）の前で、明らかに文が終わっていれば、カッコの前を二マスあける。

３．（前略）（中略）（後略）の後ろに新しい文が始まっていると推測できる場合はカッコの後二マスあける。

以上から判断してください。

１．■■－－■（前略）■もとより竜馬はひとかどの一人物なれども、・・・

２．兄弟の結びをなし■（中略）、錦旗一たび揚らば・・・
３．■■（前略）■草莽の志士・・・とても策無之事■（中略）■乍失敬、・・・これなきか。■■（後略）
４．賛成せり。■■（中略）■老坂に至る
５．■■「（前略）■大平通り御嶽・・・

１．は、段落で棒線から新たな文が始まっていると考えれば、（前略）の後ろ一マスあけ
２．は、（中略）の後ろに読点があるので、文の途中と考え、（中略）の前は一マスあけ
３．段落で文が始まっていると考え、（前略）の後ろ一マスあけ、（中略）の前後は、「とても無策（策無き）こと、（中略）失敬ながら、」となっているので、もしかしたら返り点で上に返るところかも知れないので、文中と考え、前後一マスあけ
４．は、「老坂に至る」の後がどうなっているのか、判断がしにくいのですが（中略）のところから文が始まっていると考えれば、一マスあけ
５．カギで文が始まると考えて、（前略）の後ろは一マスあけでよいのでは無いかと思います。

ただ、１．５．の（前略）や、４．の（中略）がまとまった文と思われる場合は、後ろ二マスあけになることもあります。文脈によって判断する必要があります。
この原本については分かりませんが、元の資料にあたることが可能であればより明確になると思います。

９．p106　２．カッコ類
『～』はふたえカギ、((～))は二重カッコとなっています。二重カッコは「にじゅうかっこ」でいいのでしょうか。
【A】
点字の記号としては、カギ類の中に用いる、⑤⑥③⑥～③⑥②③のカギを「フタエカギ」、カッコ類の中に用いる⑤⑥②③⑤⑥～②③⑤⑥②③のカッコを「数２ジュー■カッコ」といいます。これらは、墨字の『～』、((～))と対応して用いられることが多いのですが、墨字の記号と全く同じ名称ではありませんので、注意する必要があります。
墨字の記号は、記号名が定まっていませんので、音訳などで用いられる一般的な読み方を以下に示します。
墨字の『～』は「ふたえかぎ」とも言われますが、一般には「にじゅうかぎ」と言われることが多いと思います。

墨字の((～))は、「にじゅうかっこ」または「にじゅうまるかっこ」と言われます。
墨字の〈～〉は、「やまがたかっこ」と読みます。
文化庁の「記号類の使ひ方」には、『～』は、「フタエカギ」、((～))は「フタエガッコ」と書かれています。(「指導者ハンドブック第４章編」巻末参照)

10. p107　２．カッコ類　(4)

「SF(の)」という時は、外大大ＳＦ（ノ）でしょうか、外大大ＳＦ■（ノ）でしょうか。p107(4)の最初の文言からすると、カッコ類の開き記号との間はマスあけなしと解釈してよろしいでしょうか。カッコの中が説明ならマスあけなしでよいと思いますが。

【Ａ】
外大大ＳＦ（ノ）
と続けて書きます。
「てびき」ｐ107　(4) の規則に従います。
前の語の注釈的説明ではありませんが、助詞・助動詞は本来前に続けて書くものですので、外字符の後であってもカッコで囲むことによって、アルファベットと間違うことがなくなれば、続けて書くことができます。
例えば、文中注記符なども同じことが言えます。
《ＳＦ＊の》　の＊に文中注記符を用いる場合
外大大ＳＦ⑤⑥②③ノ
と続けて書きます。

11. p108　２．カッコ類　［参考］

（原文）
原則として決裁・供覧文書以外を公文書としないというこれまでの定義は・・・
ガイドラインでは、検証が可能となるように、決裁（起案）・供覧文書に必要な情報を「記入または別紙を作成して添付」する・・・

後半の「決裁（起案）・」ですが、起案は決裁の説明とは思えず、「あるいは」の意味の、補足として、挿入カッコ、ケッサイ■（キアン）・　となると思いますが、よいでしょうか。

【Ａ】
このような場合も、ケッサイ（キアン）と続けて書きます。
カッコは、前に続けて書くのが原則であり、前でマスあけするのには、独語、回想、略語など特殊な場合で、この部分は独立していますので、省略すると文脈に齟齬が生じます。(「てびき」p108　［参考］)

決裁（起案）の場合は、カッコ内がなくても、文章は成り立ちます。
このように、前の語の言い換え・置き換えのような働きの場合は、カッコの前はマスあけしないで書くことになります。
彼（彼女）は学生です
のような場合も、カッコは前の語に続けて書きます。

12. p109　「コラム23」

『［現代版］絵本　御伽草子　木幡狐』『ピエタとトランジ＜完全版＞』の［～］＜～＞は第２カギを使いますか。またそれぞれ本の名前と一マスあけでよいですか。

【Ａ】

『［現代版］絵本　御伽草子　木幡狐』『ピエタとトランジ＜完全版＞』のように版次や巻次などを示す場合は、墨字で［～］や＜～＞が用いられていても、点字では通常第１カッコを使用します。カギは強調の役目をしますので、版次や巻次に用いると書名とのバランスを欠き、違和感が生じます。カッコの前後の文字との間は一マスあけします。

13. p109　３．指示符類

指示符で囲んだ文の中に、第１カギ　促音　と続く文章が入った場合です。
一般書では指示符を使わないという考え方をするとのことでしたが、このエッセイでは、ハイライト＋太字と強調された箇所は、著者が伝えたい箇所と判断して、第１指示符を使いました。
原文の、以下の部分を第１指示符で囲みました。

両親は仏壇で目があって、「元気ー？　私は元気ー！」って報告する存在。

この中の《「私は元気ー！」って報告する》のところが、第１カギの閉じ記号と促音符が続き、第１指示符の閉じ記号の形になります。
誤読されてしまう恐れがあると考えるべきでしょうか。それとも、文章の流れから判断できると考えていいでしょうか？

【Ａ】

第１指示符の中に第１カギがあり、その閉じ記号の直後に促音がくるのは、読みにくく誤読の恐れがあります。
実際にはカギ閉じだったところで指示符の閉じと誤解してしまい、カギはまだ続いていると思って読んでしまう可能性があります。それが違っていたことに気付くのは文末まで何マスも読んだ後になってしまいますので、誤読の恐れがあるケースとなります。

どうしても指示符を用いなければならない場合は、第１カギの部分を第２カギに替えるなどの処理が必要になります。

一般書では、「傍点筆者」のような記載があってやむを得ない場合以外は、やはり極力指示符を用いないことをお勧めします。

墨字では太字であることと文字を同時に認識して読めますので、強調表現は多用されますが、点字では、第１指示符で囲んでもその意図は伝わりにくく、さらに今回のような読みにくさも生じますので、使用にあたっては十分に検討をしてください。

14. p110　４．外国語引用符

テレビで「ドキュメント１ＤＡＹ～緊急事態宣言下のある一日～」という番組名がありました。この「ドキュメント１ＤＡＹ」は、ドキュメント■数１引大大ＤＡＹ引　と書いていいでしょうか。

【Ａ】

「ドキュメント１ＤＡＹ～緊急事態宣言下のある一日～」は「ワンデイ」と読みますので、「てびき」p111の「Lesson　１」の例のように、「１ＤＡＹ」を外国語引用符で囲みます。外国語引用符の中では英語の表記になりますので、単語ごとに区切り、「１」と「ＤＡＹ」はマスあけします。

ドキュメント■引数１■大大ＤＡＹ引■－－■キンキュー～

となります。

15. ｐ110　４．外国語引用符

英数字を使った事業所名の切れ続きについて、「YouTube」は一続きに書くと語例集にあります。ニュースサイト「Level7」はホームページでは、アルファベットと数字が一続きに見えます。読みは「レベルセブン」とあります。一続きに書くのでしょうか。「YouTube」のように英語の固有名詞を一続きに書く区別は何でしょうか。

【Ａ】

外国語引用符の中は、英語の書き方になります。英語点字は墨字の英語の書き方に従います。日本語点字の表記の切れ続きやマスあけの規則はあてはまりませんのでご注意ください。

「YouTube」は、英語ではこのように二つ以上の単語が一続きに書いてあって一語としての意味を表す場合がありますので、原文のとおりに書きます。

「Level7」は、原発事故の放射性物質の総放出量のレベル７を表すようです。英語ではLesson１などと同様に、引大Ｌｅｖｅｌ■数７引　と書きます。

16. p110　４．外国語引用符

一般書の中に次のような記述があります。

GAFA(Google・Amazon・Facebook・Apple)

このカッコの中の「・」はどの様に点訳すればよいのでしょうか。

カッコの中は全体を外国語引用符で囲もうと思いますが、外国語引用符の中では「・」は省略して１マスあけにしてよいのでしょうか。それともコンマかピリオドに替えた方がよいのでしょうか。または全体を囲むのではなく個別にした方がよいのでしょうか。

【Ａ】

原文通りにそれぞれの単語を外国語引用符で囲んで、中点を用いても間違いではありませんが、マス数も多くなり、読みにくさもあると思いますので、

一つの外国語引用符で囲み、コンマを用いるのがすっきりしていると思います。

外大大ＧＡＦＡ（引大Ｇｏｏｇｌｅ②■大Ａｍａｚｏｎ②■大Ｆａｃｅｂｏｏｋ②■大Ａｐｐｌｅ引）

となります。

17. p110　４．外国語引用符

ASAP (as soon as possible/大至急)

このフレーズの、外国語引用符・スラッシュ・カッコの点訳に迷います。

引ASAP (as soon as possible) 引■(大至急)

と書いていいでしょうか。

【Ａ】

このフレーズは、《ASAPは、as soon as possibleの略で、大至急という意味です》ということを表していますので、

外大大ＡＳＡＰ（引ａｓ■ｓｏｏｎ■ａｓ■ｐｏｓｓｉｂｌｅ引■大至急）

と書くのが、よいと思います。

ＡＳＡＰは略語ですから、外字符を前置し、英語の部分を外国語引用符で囲み、外国語引用符の後ろは一マスあけて、日本語を入れます。

18. p110　4. 外国語引用符

１．『How to Be Happy Tough Human』Beran Wolfe, Farrar &Rinehart Incorporated,1931.　の文について

『引How to Be Happy Tough Human引』■引Beran Wolfe, Farrar & Rinehart Incorporated, 引■数1931でしょうか。

それとも数字の1931の後で外国語引用符を閉じるべきでしょうか。その際の数字の表し方は、日本語点字と同様に、数字の前に数符をつけて表してよいでしょうか。

２．『Songs From St.KILDA』(Anne Lorne Gillies)
と『曲名』(歌手名）が書いてあるのですが、
カギとカッコ内にそれぞれ外国語引用符で点訳してよいでしょうか。それともひとつの外国語引用符内で点訳することになるのですか。

【A】

１．これは、書名と著者名、出版社名、発行年ですので、一つの外国語引用符で囲むのがよいと思います。そのためには、日本の記号である『～』を英語の記号であるコーテーションマークにする方法があります。

外国語引用符の中でも、1931のような数字は数符を用いて日本文と同じように書きます。英語の書き方は、「てびき」p136～p140を参照してください。

１タイトルの中では、『～』の処理は統一しておいた方がよいと思います。日本の文献はふたえカギで囲みますが、英語の文献の『～』はコーテーションマークにして、書名・著者名・発行所・出版年をすべて一つの外国語引用符で囲んだ方がよいと思います。

なお、「てびき」p135【備考】にあるように、外国語引用符と英語のコーテーションマークは形が同じですが、外国語引用符の中にコーテーションマークを用いることができます。

２．『～』にふたえカギを用いて、それぞれに外国語引用符で囲んでもよいと思いますが、曲名・歌手名を一つの外国語引用符で囲み、『～』をコーテーションで点訳してもよいと思います。

引“Songs From St.KILDA”■(Anne Lorne Gillies)引
となります。

どちらも間違いではありませんが、英語の曲名と歌手名ですので、一つの外国語引用符で囲んだ方がすっきりすると思います。

ただ、多くの曲名と歌手名が書かれていて、日本語の曲名と歌手名も同じ記号で書いてある場合などは、書き方を揃えた方がよい場合もあると思います。

19. p111　５．点訳挿入符

「載ったら乗らない」という見出しがあります。その意味が本文に、「新聞に書評が載ったので、その新聞に猫を乗せて写真を撮ろうとしても、猫が乗ってくれない」という説明が書かれています。本文中にも、「載ったら、乗らない」という言葉が出てくるので、説明は本文だけでいいですか。

また、「乗る/載る」もあります。／は中点にするつもりですが、ノル（ジョーシャノ■ジョー）では、新聞に猫が乗るとはちがう意味になってしまうでしょうか。「乗らない」の時はどの位置に説明のカッコを入れたらいいでしょうか。

【A】

見出しには点訳挿入符は入れない方がよいと思います。本文も読めば意味が分かるようでしたら漢字の説明は必要ないと思います。

「乗る/載る」は、点訳挿入符で説明するとしたら、「新聞の上に乗ると新聞に掲載される」のような説明でよい場合もあると思います。漢字の説明が具体的に必要な場合は、ジョーシャノ■ジョート■ケイサイノ■サイのように音読みの違いで説明するのがよいと思います。

「乗らない」は、おそらく文脈で分かるのではないかと思いますが、判断が付かないような場合は、「乗らない」のうしろに、「ウエニ■ノラナイ」または「ノッカラナイ」などと説明を入れることになります。

20. p111　５．点訳挿入符

「かぜがまえ」についてです。『さいはての彼女（原田マハ著)』に「凧」という女の子が〈風を止めたくないので〉「止」を書かない字を使っています。今のところ「(風の字の）かぜがまえ」にしようかと思っていますが、他に良い表現がありましたら教えてください。

【A】

几の形を説明するときに、「かぜがまえ」または「かぜかんむり」と書くのは分かりやすいと思います。

ただ、どのような文脈で出てくるのかによって、点訳挿入符で少し詳しく漢字の説明をした方がよい場合もあると思います。

たとえば、

ナギ点挿ナカノ■「トメル」ヲ■カカナイデ■カゼガマエダケノ■カタチ点挿

ナギ点挿カゼガマエノ■ナカニ■「トメル」ト■カク■「ナギ」ヲ■カゼガマエダケニ■シタ■カタチ点挿

等の説明が必要かもしれません。

文脈によってご検討ください。

21. p111　５．点訳挿入符

最近、1冊の本の中に、読みは同じで漢字が違う人名や地名というのが良く出てきます。本によって、要所要所に点訳挿入符で説明を入れるなどの方法で対処できる場合もありますが、本によっては、一つの場面に頻繁に読みが同じ人物が出てきて会話したり、他の人物とやり取りしたりします。例えば、「〇〇は△△のもとへ駆け寄る」といった具合です。

１．前置きなく文頭に〇〇は…　△△は…　と出てくる文も多いのですが、点字を読む方にとって、文を最後まで読めばどちらの人物か見当がつく場合、注や記号

がない方が読みやすいでしょうか。それとも、文頭ですぐにどちらか分かった方が読みやすいでしょうか。

２．区別がつくように工夫する場合、凡例や点注で断ったうえで片方の名をカギで囲むことを考えましたが、第１カギだと、会話文の中では二重カギになり、形が変わります。第２カギだと、１箇所に4マスも増えることになり、煩雑な気がします。どういう記号を使えばいいでしょうか。
ケースバイケースであることはもちろんなのですが、一般的に言ってどうすればよいでしょうか。

【A】

一般に、文章を読めば分かる場合は、注記や記号などで区別をしたりする必要はありません。

また、区別のために何か工夫をする場合でも、毎回入れるのではなく、文章を読んでどうしても分からないときにだけ入れるとよいでしょう。

点訳書凡例などで断って、カギ類などの記号類を用いてもよいのですが、後ろにカッコで囲んで簡潔な説明を入れる方が分かりやすい場合も多いと思います。マス数は少し多くなると思いますが、後ろに付いているカッコは必要のない場合は飛ばして読むことができるので、むしろ便利だと思われます。

カッコの中は、最初に断ってできるだけ簡潔にします。

たとえば、伊達市（北海道と福島）の場合は、北海道の方にダテシ（キタ）としたり、伊達市と伊達氏の場合で区別が付かない場合は、頻度の少ない方に、(チメイ)（ヒト）と入れるなどの工夫をしたらどうでしょうか。

これらも、文脈で判断が付けば入れる必要はありません。

22. p111　５．点訳挿入符

現在、国語関係の読みものを点訳しています。内容は、「漢字の単語について対立する２つの読み方を上げ、どちらが本来的・一般的か論じる」、「漢字の表記や送り仮名について、２～３つの書き方を上げ、どれが適切か論じる」というものです。見出しには、「不気味」vs「無気味」のようにvsを挟んで対立する語が併記されています。

同じ読みで表記が異なる語が繰り返し出て来る本で、点訳挿入符の入れ方について迷っています。

①点訳挿入符内では、なるべく音を合わせるようにと思って来ましたが、必ずしもそうでなくてもよいのでしょうか。

例えば、「若輩」vs「弱輩」を比較する項で、「若輩（じゃくは自若のじゃく)」「弱輩（じゃくは強弱のじゃく」とするよりも、「若輩（わかい)」「弱輩（よわい)」とした方がわかりやすく、内容も短くなります。

②必要最小限について

点訳挿入符についての質問例の中で、地名「伊達」の書き分けについての解説があり、必要最小限に「伊達（きた)」というような入れ方をしてもよいとされていました。

「不気味」と「無気味」が何度も文中に出てくる場合、最初は「不気味（ぶは不安のふ)」「無気味（ぶは有無のむ)」としますが、２度目以降は「不気味（ふ)」「無気味（む)」まで簡略化することはできますか。

同じく最小限ということでは、「的確」vs「適確」では、１度目は「的確（てきは目的のてき)」「適確（てきは適当のてき)」と入れますが、２度目以降は「的確（目的のてき)」とするか、「的確（目的)」まで簡略化できるのか迷っています。「のてき」の部分はマス開けを挟むこともあり、繰り返し出てくるたびに書くと意外と長くなるので、できることなら省略したいと思うのですが。

③数字の読み方が問題となる語について

例えば「十中八九」は点字では「数１０チュー■数８数９」と書きますが、「じゅっちゅう」と読むか「じっちゅう」と読むかが問題となる項では、凡例で断った上で、「ジュッチュー■数８数９」vs「ジッチュー■数８数９」と書き、見出しの最後に２マスあけて点訳挿入符で（数１０チュー■数８数９）と入れています。

このように取り扱うと決めても、「一人前」を「ひとりまえ」と読むか「いちにんまえ」と読むかの項では、意味の解説の中に「一人分」の意味も、「技能などが人並みであること」の意味も取り上げられており、意味によって点字では数字を使うことも使わないこともあるので、見出しの最後に数字を使った点字表記を併記するべきか迷いがあります。

これらのことについて、凡例で断るなど、わかりやすく処理できる方法はありますでしょうか。

【A】

原本の特徴をよく捉えられており、基本的に、お考えの点訳方法に賛成ですし、その点訳方法で、点字で読んでも理解しやすいと思います。

①　前後の文脈にもよりますが、「輩」の説明がなくてもよければ、「わかい」「よわい」で十分分かると思います。

②「不気味」と「無気味」の２度目以降の簡略化も「ふ」「む」でよいと思います。

「的確」「適確」についても、２回目以降は「もくてき」「てきとう」でよいと思います。

③数字の読みについては、原本の性質上、点字では数字で書くか仮名で書くかに厳密にこだわらなくてもよいと思います。「ジッチュー■数８数９」「ジュッチュー■数８数９」と書いてあれば、数字の１０であることが分かりますので、点訳挿入符で正しい点字表記を入れなくても内容の理解には影響がないように思います。

23. p111　５．点訳挿入符　【備考１】

花の色はうつりにけりないたずらに我が身

世に経る(降る)眺め(長雨)せしまに

大江山生野(行く野)の道の遠ければまだ

文(踏み)も見ず天の橋立

音で遊ぶ、和歌の掛け詞の例文です。カッコの部分の点訳はどうしたらいいですか。

【A】

まず初めに、途中に点訳挿入符などを入れないで、和歌として点訳します。そして、その後に点訳挿入符で掛詞の説明をします。

ハナノ■イロワ■ウツリニケリナ■イタズラニ■ワガ■ミ■ヨニ■フル■ナガメ■セシ■マニ 点挿 「フル■ナガメ」ワ■「ナガアメガ■フル」ト■カケテ■イル 点挿

オオエヤマ■イクノノ■ミチノ■トオケレバ■マダ■フミモ■ミズ■アマノ■ハシダテ 点挿「イクノ」ヲ■「ユク■ノ」ト■カケ、■テガミノ■フミト■フミイルノ■フミヲ■カケテ■イル 点挿

24. p112　５．点訳挿入符　【備考２】

次のような文章で、視線(指線）の部分の点訳ですが、カッコ内に点訳挿入符を使おうと思うと閉じカッコとの関係で使えないのですが、このような場合はどうしたらよいのでしょうか。

本のページの手触りを意識し、視線(指線）で活字を追いながら、紙上ワークショップをお楽しみください！

【A】

このような場合、シセン（シセン）と書いても、同じ読みの繰り返しで、分かりにくいだけですので、

シセン点挿ミル■セン、■カッコナイニ■ユビノ■セン点挿

などのように、同じ読みの語がカッコ内に書かれていることを説明するとよいと思います。

その３　線類

１．p113　１．棒線・点線　【処理２】

原文が

そ・・・うか

そ・・・うかな
と書いてある場合、どのように点訳すればよいでしょうか。

【A】

長音符は語頭に書くことはできませんので、原文の通りに、「ソ■・・・■ーカ」と書くことはできません。

この場合、原文の表現とは少し異なりますが、「ソー■・・・■カ」「ソー■・・・カナ」と書くのがよいと思います。「そ」と言い始めてからあいだに、余韻、間（ま）があることが伝わるのではないかと思います。

【処理２】の促音符の例と同じような考え方になります。

２．p114　3. 波線

波線（範囲記号）の使い方について、「てびき」には、数量・時間・場所などの範囲を表すとあります。例えば個人の時期の経過を表すことはできるでしょうか。

（原文）

私が舞台で人を沸かせることを初めて体験したのは、チャップリンズというコント・コンビをやっていたときのことでね。一旦、整理して書いておくと、小豆島～三木のり平師匠～神様・高倉健さん～東映～商業演劇～カジノ～坂本九さん～チャップリンズ～コント・レオナルド、ってなるわけだけどさ。

この「～」を波線（範囲記号）を使うことはできるでしょうか。あるいは何の記号を使うのが適切でしょうか。

【A】

このような場合も、時間的な範囲を表していますので、波線を用いることができます。

ですが、マスあけを含む語の間に波線が８箇所も続くと読みにくくなります。ここは時間的に一方向の流れを示していますので、「～」の部分を右向き矢印で点訳するとすっきりすると思います。

その４　伏せ字とマーク類

１．p116　１．伏せ字

伏せ字の直後にカッコがある場合、

「今に莫大な利権が×××（とれる）からとて、全国民がただ一本調子に歓喜するのみなるは決して正義の日本の誇るべき姿ではない」

前文に伏せ字交じりの文章となっているので、（とれる）は伏せ字ｘｘｘの説明文だと思います。

伏せ字の後のカッコは続けていいのでしょうか。

【Ａ】

この場合のカッコは、前の語の注釈的説明になりますので、伏せ字に続けて書いてよいと思います。

伏せ字やマーク類は、文章記号ではなく文字の代わりですので、記号類の中や、記号類と接するときには、他の文字と同じように扱います。

なお、参考まで申し上げますと、「てびき第３版Ｑ＆Ａ第２集」Ｑ96にも、同じＱ＆Ａがあります。

２．p116　１．伏せ字　【備考２】

「〇〇市×SDGs」の点訳例として「×」を「カケル」とするとありましたが、次のような場合も同様に考えていいのでしょうか。

対談を表す文章中、見出し語で「山本×鎌田」とある場合、「ヤマモト■カケル■カマタ」と点訳していいのでしょうか。

【Ａ】

「×」が、伏せ字記号以外の働きで用いられている場合は、省略したり、その形の読みを書くのが一般的ですが、対談の場合は、マスあけまたは中点に代える方法が多く採られています。マスあけだけでは、わかりにくいこともありますので、

ヤマモト・■カマタ

のように書くのがよいと思います。

３．ｐ116　1．伏せ字　(3)

TEL：０３－＊＊＊＊－＊＊＊＊のような場合と異なり、〒＊＊＊－＊＊＊＊のように郵便番号全体が伏せられている場合は数符を前置した伏せ字にしなくてもよいでしょうか。「Ｑ＆Ａ第２集」Ｑ95の解説に「電話番号のように数字が伏せられていることが明らかな場合は数符を入れます」とありますが、それは伏字の前や後ろに数字が入っている場合のこととして考えてよいですか。

【Ａ】

数符を入れなくても間違いではないと思いますが、〒のあとには７桁の数字が来ることが分かっていますので、数符を入れた方が、郵便番号として読みやすいと思います。

ユー■数⑤メ⑤メ⑤メ＝数⑤メ⑤メ⑤メ⑤メ

４．p118　３．ナンバーマーク　(3)

一般書の本文中に「＃ColorHasNoGender」の英文があり、単語の間がマスあけがなく書かれています。

「てびき」p138［参考］には英語点字ではマスあけは基本的には原文通り。

「やさしい英語点字入門」p82　１．には英語点字では単語と単語の間は一マスあけるのが原則

とあります。今回の場合はどのように書いたらよいのでしょうか。

【A】

＃ColorHasNoGender　は、ハッシュタグを付けた語句で、＃の後ろのアルファベットは一続きに書くことがルールになっています。スペースを入れるとそこで一つのハッシュタグが終わることになりますので、ハッシュタグとして書く場合は原文通り一続きに書きます。

一般書の中では

⑤⑥ク■引大Color大Has大No大Gender引

または、全体をアドレス囲み符号で囲んで

⑥②③⑥ク大Color大Has大No大Gender⑥③⑤⑥

となります。

なお、『やさしい英語点字入門』は英語点字の基礎が説明してあって分かりやすい本ですが、「はじめに」にあるように、「点訳」の入門書ではなく「点字を使う人」のために書かれたものです。「本書は英語点字を初めて学ぶ方を主な対象としていますので、表記規則の細部まではカバーしていません。」と書いてありますので、この本の特徴を理解した上で使用されるとよいと思います。

その５　その他の記号類

１．p121　２．小見出し符類

小見出し符を使った文章をインデントにできますか。

小見出し符は３マス目から書いたものに使いますが、インデントですと５マス目になってしまいます。インデントにしないで行あけだけにした方がよいのでしょうか。

【A】

小見出し符は３マス目から書く見出しの後ろに付ける記号ですので、５マス目から書く見出しの後ろに付けることはできません。

小見出し符を含む文章には、インデントは用いないのがよいと思います。

小見出し符があるのですから、全体に下げて書かなくても、読むのに不都合はな

いように思います。

２．p121　２．小見出し符類

「てびき」p122のコラム24に「囲みの記号の中でコロンが使われている場合は、小見出し符類を用いることはできない」とありますが、コロンでなければ小見出し符を使っていいのですか。段落挿入符の中で小見出し符を用いることは可能ですか。

【A】

囲みの記号の中で小見出し符類を使用することはできません。

p121　(2)に、「３マス目から見出しを書き～」とありますので、見出しの前に囲みの記号などがある場合は、小見出し符を用いることはできません。

段落挿入符の中でも、小見出し符類は用いることはできません。

３．ｐ122　「コラム24」

英語表記にはセミコロンがありますが、日本語表記ではセミコロンはどうすればよいのでしょうか。

例　1999；17（３）：34

JAMA2000；371：m3939

Lancet1918；2：694　の場合は外引符を使い英語表記できるのですが、外字符や数字のみの場合はどうなるのでしょうか。

【A】

日本語の記号にはセミコロンはありませんので、「コラム24」の「墨字のハイフンやコロン」と同じようにマスあけに代えたり、適切な日本語の記号に置き換えたりすることになります。セミコロンは、コロンより小さな区切りですので、一マスあけ以外は、二マスあけか、読点などが考えられます。

ご質問の例は、上は、参考書籍などの発行年や巻数（号数）などを書いたものだと思いますので、一マスあけでよいと思います。

下の例は、米国医師会雑誌掲載の研究論文の識別番号だと思いますので、これも一マスあけでよいと思います。

４．p128　７．空欄符号

(1)メール文テンプレートの作り方の解説中に、宛名や商品名など、その都度書き変える必要があるものは「●●●●●」で表示するなど、視覚的に注意が向くようにして、書き換えを忘れない工夫を。

と、あります。

この「●●●●●」部分の「●」は　伏字記号以外の働きで用いられている記号だと思うので、「イツツノ　クロマル」などと書くのだと思います。その際、点訳挿

入符やカッコに入れて書くなどしたほうが良いのでしょうか。そのまま、記号の読みに置き換えるだけで良いのでしょうか。

(2)また、後に出てくる　そのテンプレート文例中には、以下の例のように「●●●●●」や「●」が何カ所にも書かれています。

「●●●●●」の新商品発表会を・・・

日時　●月●日（●）　●～●時

場所　●●●●●

このテンプレート文例中の「●」部分も「イツツノ　クロマル」や「クロマル」と書くのは、読みづらい気がするのですが、どのように表したら良いか、良い考えが思いつきません。点訳挿入符で断り、「⑤の点　マ」などを使用しても良いのでしょうか。

【A】

このような●は、ここに読者（使用者）が具体的な言葉や数字を入れる箇所ですので、空欄符号を用いるのがよいと思います。

点訳書凡例で、《原文で、●で表されているところは、④⑤⑥フフニ　の記号を用いた。》のように断わり、空欄符号で書きます。

殆ど基本的な空欄符号を用いますが、特に長い文章を入れるような所は、「フ」の数を増やしてもよいと思います。

また、文字数が具体的に示されているような場合は、「フ」の数で調整するより、カッコで囲んで、「漢字２文字に相当する語」「仮名で２文字」などと添えた方が分かりやすいかも知れません。

ただ、点字の場合は墨字と文字数が異なりますので、あまりそこにこだわらず、●月●日も、基本的な空欄記号で書きます。

その６　記号が連続する場合の注意

１．p131　１．記号間の優先順位

全世界にニュースが配信されたそうだ。全世界に･･･（またも宗教戦争の勃発を懸念する私）

この文の点線の後ろのカッコが説明のカッコであれば続けていいでしょうか。

【A】

ゼンセカイニ■・・・■（マタモ

点線の後ろ一マスあけます。これは、記号間の優先順位により、点線の前後ろを一マスあけるのが第３順位、囲み記号の外側は第４順位ですから、点線の後ろ一マ

スあける方が優先されます。

句点の後ろに説明のカッコが来る場合も、句点の後ろ二マスあけが第２順位、カッコの外は第４順位ですから、句点の後ろ二マスあけます。

２．p131　１．記号間の優先順位

下記の「？」の後や「…」との間のマスあけはどうなりますか。

１．「～ばりん、ばりん、と音がする。あれは一体何の音だろう？って」

２．「何か感じたかなあ、と思って」「はあ…感じた？…ですか？」

３．「仏さんの代わりに整理するんだから、心のない仕事はしちゃいけねえ」「仏さんの？…」「ああ、そうだ。」

以上の３例です。

【A】

疑問符を②⑥、点線を②②②と書きます。

１．疑問符の後、「って」と続きますので、一マスあけになります。

ナンノ■オトダロー②⑥■ッテ」

２．疑問符は文末に付くということを優先して判断し、記号間の優先順位（p131）の第２順位と第３順位となり、疑問符の後二マスあけます。

②②②■カンジタ②⑥■■②②②■デスカ②⑥」

３．この場合も、疑問符は文末と判断し、疑問符の後二マスあけるのがよいと思います。

「ホトケサンノ②⑥■■②②②」

３．p132　１．記号間の優先順位　［参考］

カギと棒線の間のマスあけについてです。

①ロケ現場ではディレクターが「5秒前、4，3，2・・・」－－　カメラ横で、しゃべり始めの合図をきっちり出していたことだろう。

②「気負わない」「テンションを高めない」－－　これが基本。

③「センテンスは短く」－－　これがポイント。

④「この人と波長が合いそうか否か？」－－　我々は短い雑談を通し瞬時に判断する。

深く考えず、棒線の前後一マスあけをしているのですが、ｐ132の［参考］のカギの中の文章が終わっているかどうかをどう見ればよいのでしょうか。

【A】

棒線の前後は一マスあけが基本ですが、「てびき」p105、p132の［参考］なども参考にして判断することになります。

①　ディレクターが「～」～きっちり出していたことだろう。

と、なり、全体で一つの文ですので、棒線の前後は一マスあけになります。

②　「～」「～」は、語句の並列と考え、棒線の前後を一マスあけでよいと思います。

③　これも、②と同じと考え、棒線の前後は一マスあけになります。

④　最後に疑問符が付いています。疑問符は基本的に文の終わりにつきますので、ここで文が終わったと考えた方がよいと思います。棒線から新しい文が始まったと考え、棒線の前を二マスあけ、後ろは一マスあけにします。

４．p132　１．記号間の優先順位　［参考］

閉じカギの後に棒線や点線の前のマス開けにいつも悩みます。

あります」■■―■それは・・・

あります」■――。

私は点線や棒線の後に句点があるときは、文の続きとして一マス開けでよいのではと思うのですが、いかがでしょうか。

【A】

上の例はカギで文が終わって、次に新しい文が始まっていると考えられますので、二マスあけでよいと思います。

下の例は、判断が難しいのですが、「～あります」で文が終わって、棒線で新たな文が始まっているとは考えにくく、棒線の後ろの句点までが一つの文と考えるのが自然だと思われますので、記号間の優先順位に従って、一マスあけがよいと思います。

５．p132　２．読点が他の記号と連続する場合　(1)

児童書で閉じカギの前には全て「句点、読点、疑問符、感嘆符」のいずれかが記されています。「そろり、そろり、」とありここで改行しています。 読点を省略した場合、この箇所だけ句読符がないのは不自然な感じがします。また改行になっており誤読の心配はあまりないと思われます。このような場合でも「てびき」どおりに処理すべきでしょうか。

【A】

p132の原則に従って、カギのとじ記号の前の読点は省略することをお勧めします。児童書であればなおさら、余分な記号が付くことによって、読みにくさが増すと思われます。

ｐ132のルールは、「てびき」だけの規則ではなく「日本点字表記法」のルールですので、点字では、第１カギの直前に読点は書かないことになっています。

カギの閉じ記号の前に読点を書いてよいのは、法律の条文や、他の文章からの引用部分の終わりに読点があり、省略すると文意が伝わらない場合などに限られてい

ます。

６．p134　３．囲みの記号が他の記号と連続する場合　(4)

カギの内側に第１カギがある場合の処理について伺います。

「てびき」の例はカギが連続する場合の処理ですが、連続しなければそのまま第１カギを使えるのでしょうか。

例：　日本経済新聞社発行『仕事中だけ「うつ」になる人たち』

第２カギの内側の第１カギはいかがでしょうか。

例：《交響曲第二番「小ロシア」》

（上記《　》は原本の文脈上、第２カギを用いています）

カギの中にさらにカギが必要な場合は、ふたえカギか第２カギと思っていたのですが、誤読のおそれがなければ、第１カギを用いても差し支えないのでしょうか。

【A】

日本経済新聞社発行『仕事中だけ「うつ」になる人たち』

《交響曲第二番「小ロシア」》

ご質問の二つの例は、ともに誤読される恐れはありませんので、第１カギを用いることができます。

７．p134　３．囲みの記号が他の記号と連続する場合　(5)【処理】

原文に、「ド」～「ミ」とあります。

(5) に『波線の前後ろに第１カギが続く場合、第１カギを第２カギなどに置き換える。』とあります。また、【処理】に『原文の文脈上差し支えない場合は、全体を第１カギなどで囲むことができる。』とあります。

例をみても【処理】の方を使用する方が読みやすいように思うので、【処理】の方を使用しようと思いますが、『文脈上差し支える』場合とは、例えばどんな場合なのでしょうか。

また、原文の「ド」～「ミ」は、どうしたらよいでしょうか。

『試しに「ドレミファソラシド」と口ずさんでみましょう。たいていの人は「ド」～「ミ」あたりが地声になっているのではないでしょうか。ちなみに、ジャパネットたかたの高田明さんは日本で唯一「シ」で話せる人です。』

【A】

【処理】を用いて、全体を第１カギで囲み、「ド～ミ」と書いてよいと思います。墨字で、地の文の中で、ドやミ、シだけを書いては紛らわしいので、地の文から浮きだたせるためにカギで囲んだと思いますので、「ド～ミ」全体を一つのカギで囲んでも文脈上差し支えない例にあたると思います。

「文脈上差し支えない場合」という表現は、原文には多様な表現があり、すべて

を想定することは不可能ですので、「てびき」ではこのような表現を用いています。
たとえば、
犬棒かるたが江戸と京都では中身が違うことを説明した文が以下のようにあった場合、
江戸は「犬も歩けば棒にあたる」～「粋は身を食う」、京都は「一寸先は闇」～「雀百まで踊り忘れず」
このように中にマスあけが含まれる場合はひとつのカギに囲むことはできません。
また、たとえば、新幹線の駅名を列挙し、のぞみ停車駅をカギに囲んで書いているような場面で、「東京」～「新大阪」のようにそれぞれがカギに囲まれていることに意味がある場合には、「東京～新大阪」とするわけにはいきません。
もちろんそこだけを第２カギにすることもできませんので、このような場合は、はじめから原文でカギに囲んでいるところを全体に第２カギで点訳するなどの方法になります。

８．p135　３．囲みの記号が他の記号と連続する場合　(7)【備考】

アルファベットの本の題名を『～』で囲み、その後に英語で出版名がある時は『～』を書いた方がいいのでしょうか。『～』を削除した場合、全部を外国語引用符で囲んでよいのでしょうか。
『Essays On … Tradition』University Press
【A】
全体を外国語引用符で囲み、『～』を、英語のコーテーションマークにするのが自然な方法だと思います。
外国語引用符の中のコーテーションマークは、形が同じですが、「てびき」p135【備考】(2) にあるようにそのまま用いることができます。

９．p135　３．囲みの記号が他の記号と連続する場合　【備考】

促音符ですが、慌てた様子で、「っ本当」、「っはい」、「っ申し訳ない」などはどうなりますか。
【A】
促音はカギで囲まれて単独である場合、前後一マスあけでポツンと一つある場合、点線・棒線の前や後ろに、１文字だけある場合などは、促音と読み取りにくいので、省略したり、「ソクオン」「チイサイ■ツ」などと書いたりするなどの工夫をします。
ご質問の場合は、カギの開き記号の直後にあって、第１指示符の閉じ記号と同じ形にはなりますが、後ろに語があるので、促音であることが読み取れると思います。
促音を②としますと、
「②■ホントー」「②■ハイ」「②■モーシワケ■ナイ」と書いてよいと思います。

その７　体系の異なる点字表記

１．p136　１．英語

外国語引用符内で例えば2018～2019とある場合、波線は③⑥だけになるのでしょうか。日本文の場合③⑥③⑥にしますが。

【A】

外国語引用符の中は英語の点字表記になります。英語には墨字でも波線はありません。墨字で、2018年から2019年という期間を表す時には、2018-2019とハイフンを使用するのが一般的です。これを点訳すると、数2018③⑥数2019となります。

点訳に際して例えば、原文に　Louis Braille (1809-1852) とあれば、全体が英語と判断できますので、「てびき」p139のように点訳しますが、
Louis Braille (1809～1852) とあった場合は、Louis Brailleだけを外国語引用符で囲み、カッコ内は、(数1809③⑥③⑥数1852) と日本語の点字表記で点訳することもあります。

原文が英語で書いてあるか、日本語で書いてあるかによって、用いる記号も異なってきます。

ただ、墨字も英語と日本語の表記を混在させている場合もあり、

Louis Braille (1809～1852;Coupvray, France)

などと続いていれば、全体を外国語引用符で囲むのが自然ですので、その場合は、原文で波線を用いているところを、点訳ではハイフンを用いることになります。

２．p136　１．英語

注及び文献の項目に英語の文の中に『～』で囲まれた部分があり、これをふたえカギで囲むと、外国語引用符を一度閉じなければなりません。この場合は、『～』にコーテーションを使ってよいのでしょうか。文は

A. B. Wright 『Physical disability - A psychological approach』, Harper, 1960

【A】

この場合、書名を囲んでいる以上の意味はないと思われますので、『～』にコーテーションマークを使用してよいと思います。コーテーションマークにすると全体を一つの外国語引用符で囲むことができます。なお、「てびき」p135【備考】(2)にありますように、外国語引用符の中にコーテーションマークがあってもそのまま点訳することができます。

３．p136　１．英語

英文のカッコの使用について

(The mean IQ of Americans: Massve gainz 1932 to 1978.(Flynn,J.R.(1984).) Psychological Bulletin,95(1),29-51.)

カッコ内にカッコが複数使用されており，会では次のように考えました。

(“The mean ･･･1932 to 1978.”■Flynn･･･,■1984■■Psychogical･･･,95［１］, 29-51.)

作者名を囲むカッコと出典年数のカッコは省略し，コンマをして１マスあけ。

９５（１）のカッコは角カッコに変える。これでいいでしょうか。

また,「てびき４版」では，ハイフンの後の数字にも数符がつくようになっていたので，つけました。

【A】

原文全体を囲むカッコは日本語のカッコですので、第１カッコを用います。

そして、カッコの中全体が英文ですので、全体を外国語引用符で囲みます。

外国語引用符のなかは、英語点字の規則に従いますので、「てびき」ｐ136～p137にある記号を用います。(～）は丸カッコで囲みます。丸カッコの前は一マスあけます。丸カッコの中に丸カッコが重なっても原文通りに書きます。角カッコは用途が異なりますので、(1) も丸カッコを用います。

なお、外国語引用符内では、原則として二マスあけはありません。ハイフンの後ろにも数符を用いるのは正しい書き方です。「てびき」p137(6)にある通り、数符の効力がハイフン等の記号によって終わるためです。

（　）を②③⑤⑥、外国語引用符を「引」と書くと、記号の前後のマスあけは以下のようになります。

②③⑤⑥引The mean IQ of Americans②⑤■Massve gainz 数1932 to 数1978.■②③⑤⑥Flynn,■J.■R.■②③⑤⑥1984②③⑤⑥.②③⑤⑥■Psychological Bulletin,■数95■②③⑤⑥数1②③⑤⑥,■数29③⑥数51.引②③⑤⑥

４．p136　１．英語

CDラベルの中に　Perfume the Best　“P　Cubed”というタイトルがあります。外引符を使用しますが、その中に「“　”」が使われています。英語点訳では「“　”」は外引符とおなじ記号です。外引符のなかに外引符記号が入りますが構わないのでしょうか。

【A】

外国語引用符の中であってもコーテーションマークを用いることができます。「てびき」p135【備考】(2)にありますので、ご確認ください。

ただ、ＣＤラベルの点訳ということですので、内容が英語であることが読む方にも分かっていれば、外国語引用符を省略することも考えられます。

点字を読むことに慣れている人でしたら、最初に大文字符があることで、英語と判断できます。ＣＤラベルの読者や依頼者と相談して検討してください。

５．p137　１．英語　(5)

外国語引用符の中での終止符の使い方についてです。

参考図書には、《終止符は、すべてが大文字で書かれた文字列や略称に複数を表すｓや接尾語が続く場合は、二重大文字符の効力を終了させるために終止符を挿入する。》とありますが、これ以外でも終止符は使えますか。

例えば、

AIUEo-Biz

のような場合、小文字の「o」 の前に終止符を使うことは可能でしょうか。

また、以下のような場合。

OKa-Biz

「オカビズ」と読む語で引用符と判断しました。「biz」は語例集でも引用符が使われていました。このとき、「OKa　オカ」ですから、わざわざ大文字のKと小文字のa の間に、終止符をつけることはないと思い、引大Ｏ大Ｋａ③⑥大Ｂｉｚ引としたいと思います。この書き方でも大丈夫でしょうか。

【Ａ】

大文字と小文字が混じった綴りの場合、二重大文字符を用いる書き方と、個別に大文字符を付ける書き方のどちらもできるような時は、意味のまとまりのなかに記号が割り込まない書き方を選びます。

この例として、「てびき」には

TVOntario　があり、この場合、引大大ＴＶＯ⑥③ntario引　と書くと、TVとOntarioのまとまりであることが崩れてしまいます。ですから終止符は用いず、「てびき」の例のように書きます。

BSc（理学博士　bachelor of science）も、英文の中では、二重大文字符は用いず、大Ｂ大Ｓｃ　と書きます。

このように考えると

AIUEo-Biz　の場合は、AIUEoの羅列であって、AIUEとoのまとまりではありませんし、OKa-Bizは、Kaを分けると不自然になりますので、共に、二重大文字符を用いないで、単独の大文字符をそれぞれに付け、終止符を用いないようにした方がよいと思います。

引大Ａ大Ｉ大Ｕ大Ｅｏ③⑥大Ｂｉｚ引

引大Ｏ大Ｋａ③⑥大Ｂｉｚ引

となります。

６．p138　１．英語　［参考］

英語で書かれた参考文献です。

‥‥Vol.9, No.5 となっています。

ピリオドのすぐ後に数字があるように思えるのですが、その場合は「てびき」p138、［参考］、「英語点字ではマスあけは基本的に原文通り」という事から、Vol　No のピリオドの後はマスあけをしないで続けて数字を書くという事でよいのでしょうか。

p.5となっていたらマスあけせず、p.　５となっていたらマスあけするという理解で正しいのでしょうか。

「てびき」p46、４．の【処理】にはアルファベットに省略符としてのピリオドがついているときは数字との間を区切って書くとありますが、これは日本語の文中でのことでしょうか。

【A】

お考えの通りです。p46は日本文の中に、外字符を用いて書くときの方法です。
英語点字では、p138の［参考］のように書きます。

とくに、このような場合のピリオドと数符の間は、英語点字では続けて書く方が原則ですので、原文に従って書きます。

７．p140　２．ホームページやＥメールアドレス

Twitterアカウントのユーザー ID(表示名の下に記載される、@May_Roma、@nhk_nehorin、@atsushilonbooなど)は、アドレス囲み符号で囲むのでしょうか。

以前、フォーラムに寄せられた「IDもアドレス囲み符号で囲むのか」という質問に対して、「情報処理点字符号特有のものが含まれていれば、アドレス囲み符号で囲む」という回答でしたが、「@」は情報処理以外でも使われるようになり、「_」は含まれないこともあるため、「情報処理に特有」と言えるのかがわからなくなりました。

価格.com、お名前.com、ヨドバシ.comなど、仮名と.comが連続するサイト名は、「価格」「お名前」「ヨドバシ」のあと、マス開けなしでアドレス囲み符号を使用した「.com」と続ければよいのでしょうか。

【A】

最近はこのような表現が多くなり、アドレス囲み符号で囲むかどうか迷うことがしばしばあります。

ただ、４章の「その４　伏せ字とマーク類」にあるアットマークは、メールアドレスやＩＤの＠に使用するためのものではありません。用法が異なりますので、ユーザーＩＤなどに用いることはできません。

@May_Roma、@nhk_nehorin、@atsushilonbooなどのユーザーＩＤはアドレス囲み符号で囲んで書きます。ユーザーＩＤなどでも、アルファベットだけで書かれている場合は文脈によっては、外国語引用符で囲んで書いてもよいと思います。

カカク、オナマエ、ヨドバシなどの後を一マスあけて、アドレス囲み符号で囲んで書きます。価格.com、お名前.com、ヨドバシ.comなどは、正式なアドレスではなく、サイト名ですので、マスあけをして構いません。
お名前.com　の正式アドレスは、https://www.onamae.com　です。このアドレスを書く場合は、全体をアドレス囲み符号で囲んで書きます。

８．p140　２．ホームページやＥメールアドレス

フランスのドメイン(google.fr)　というとき、google.fr は、外国語引用符で囲むのでしょうか。それともアドレス囲み符号を使うのでしょうか。

【Ａ】

ドメイン名は情報処理の用語ですので、アドレス囲み符号を用います。ＩＤやパスワード、アカウント名などで、アルファベットと数字だけのような場合は、外国語引用符を用いることもできますが、ドメイン名にはドット（ピリオド）が入っていますので、アドレス囲み符号を用いて、「てびき」p140～p141に従って書くことになります。

９．p140　２．ホームページやＥメールアドレス

原本に次のようにあります。

（邦訳「敵を支持者に変える：『助言を求める』ことの3つの効果」DHBR.net, 2014年11月5日）

DHBR.net,　はどのようにしたらよいのでしょうか。「てびき第３版Ｑ＆Ａ第２集」のＱ109　ｐ60にある「@Nifty 」「.com」のように情報処理点字を使用してよいでしょうか。

【Ａ】

DHBR.netは、URLではなく出版先を示しているようですので、全体を情報処理点字記号で書くのは適していないと思います。

DHBRは、DIAMONDハーバード・ビジネス・レビューの略ですので、外字符を用いることになります。また、「.net」は、アドレス囲み符号で囲んで、情報処理点字記号で書きます。

外大大ＤＨＢＲ■⑥引②⑤⑥ｎｅｔ⑥引

（⑥引　はアドレス囲み符号、②⑤⑥はドット）

少し不自然さはありますが、記号の規則通りに書くと上のようになります。

10. p140　２．ホームページやＥメールアドレス　【備考１】

情報処理記号の中に、バックスラッシュの点字記号がないのですが、バックスラッシュの点訳はどうしたらいいのでしょうか。バックスラッシュとは、スラッシュ記号の向きが逆のもので、パソコンのオペレーションシステムにコマンド入力をする際によく出てくるものです。現在点訳している本に、「こんな感じの構文みたいなものを打ち込んでました」と紹介的な感じで１箇所出てくるだけなのですが…。

【Ａ】

バックスラッシュは円記号と同じで、①②④⑥の点になります。

バックスラッシュと円記号は、コード番号が同じですので、同じ記号になります。

「数学・情報処理点字表記解説2019年版」p76に記載がありますので、参照してください。

なお、念のため書き添えますが、この記号はアドレス囲み符号の中でのみ用いられる記号です。

11. p141　２．ホームページやＥメールアドレス　【処理】

英文中の#（ハッシュタグ）はどのように表したらいいでしょうか？

出典：Fast Facts: 10 facts illustrating why we must #EndChildMarriage

「表記法」や、「てびき」の中に、該当する記号を見つけることができませんでした。

【Ａ】

二つの方法があります。どちらの方法を採用しても、点訳書凡例か点訳挿入符で断って書きます。

１．#EndChildMarriageを日本語のアドレス囲み符号で囲んで書く。#は①④⑥になります。

２．#EndChildMarriageをUEBのwebページの書き方で書く。この場合、囲み記号はなく、#は④⑤⑥に①④⑤⑥になります。

ただ、#EndChildMarriageは、マス数が多いので、すべて続けて書くと単語の区切り目のどこかで行移しする可能性がでてきます。そのときに、１．の場合の行継続符は次行の行頭に④の点で、一般書でもなじみのある書き方ですが、２．にすると、UEBの行継続符は上の行の行末に⑤の点となり、一般になじみのない書き方ですので、このことも断る必要があります。

12. p141　２．ホームページやＥメールアドレス「コラム27」

アドレスの一部に、YAMADAHanakoやTVOntarioがあった場合、どのように書くのがよいでしょうか。

英語の大文字と小文字の区別と同様でしょうか？
大大YAMADA大Hanako
大大TV大Ontario
それとも小文字に変わるところで小文字符を使いますか？
大大YAMADAH小anako
大大TVO小ntario
【A】
大文字符を「大」、小文字符を「小」で表しますと、情報処理点字記号体系では、機械的に
大大ＹＡＭＡＤＡＨ小ａｎａｋｏ
大大ＴＶＯ小ｎｔａｒｉｏ
となり、このように書いてよいのですが、数学・情報処理点字の専門家に伺ったところ、英語表記のように書いても間違いではなく、むしろその方が、意味が理解しやすく読みやすいとのことでした。
大大ＹＡＭＡＤＡ大Ｈａｎａｋｏ
大大ＴＶ大Ｏｎｔａｒｉｏ
点訳フォーラムとしてもこちらの書き方をお勧めします。

13. p143　4. 単位記号
Ａμ Sv/ｈの場合、数値のＡと単位のμ Sv/ｈの表し方ですが、
外大Ａ外μ大Sv/ｈ
外大Ａμ大Sv/ｈ
外大Ａ■外μ大Sv/ｈ
どの書き方がよいのでしょうか。単位を仮名で表した方がよいでしょうか。
【A】
同じ⑤⑥の点でも、アルファベットのＡに付ける場合と、単位に付ける⑤⑥の点では働きが異なりますので、アルファベットのＡに付けた上で、単位が始まるときにも⑤⑥の点を付けます。
外大Ａ外④m大Ｓｖヤｈ
となります。
原本の内容やジャンルにもよりますが、ほかにも単位記号で表す単位が出てくるような原本の場合は、単位記号を用いて上記のように書いてもよいと思います。
他に、単位や科学・数学記号などが出てこない一般書の場合は、
毎時■外大Ａ外④m大Ｓｖ
毎時■外大Ａ＝マイクロシーベルト
と書いてよいと思います。

原本のジャンルや用語、文脈などで判断してください。

14. p145　５．理科記号

一般書の中の理化学用語で、ポリリン酸Ｎａ、メタリン酸Ｎａなどはどう書いたらよいのでしょうか。

【Ａ】

一般書でほかに化学記号が出てこないのであれば、Naを化学記号を用いないでナトリウムと書いてもよいと思います。ポリリンサン■ナトリウム、メタリンサン■ナトリウムとなります。ほかにも化学記号が用いてあって、仮名で書き表しにくい化学記号も含まれるような場合は、ポリリンサン■外大Ｎａ　メタリンサン■外大Ｎａと書くことになります。

15. p145　５．理科記号

広報記事に“CO2”が出てきたとき、「てびき」の記載を参考に《⑤⑥ 大Co2》と点訳しました。そのとき、広報なので理科記号の必要はないのではないかとの校正のアドバイスを受け、《⑤⑥ 大大CO数２》と訂正しました。理科記号を用いるかどうかは、ケースバイケースがあるでしょうか。

【Ａ】

二酸化炭素は、外大Ｃｏ②③　と書きます。これは、一般書でも広報でも書き方は同じです。もし広報誌などで理科記号を使わないで書く方針であれば、仮名で「数２サンカ■タンソ」と書くようにします。

外大大ＣＯ数２と書くと、二酸化炭素を示すことにはなりません。